

重要取組シート

建設局 土木部 土木監理課

取組項目		道路維持管理（道路施設点検及び維持管理計画）
現状・課題		<p>1. 法令等の改正と各種計画の策定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28.8 堺市公共施設等総合管理計画を策定</li> <li>・H30.4 舗装、トンネル、カルバート、標識、照明灯の個別施設計画を策定</li> </ul> <p>2. 点検、補修等の状況</p> <p><b>点検</b>・法定点検（トンネル、大型カルバート、門型標識）はR3年度末時点で2巡目が完了。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装（幹線道路）はR2年度に5年に1度の調査を実施。</li> </ul> <p><b>工事</b>・点検でⅢ・Ⅳ判定及びMCI&lt;5以下であった施設を対象に、国の防災・安全交付金(以下、交付金)や公共施設等適正管理推進事業債(以下、公適債)を活用し、計画的に補修や建替工事を実施中。</p> <p>（補修進捗率：舗装（70%（50/72km））、トンネル・カルバート（100%（1/1箇所））、門型標識（100%（3/3箇所））、その他標識（100%（32/32箇所））、照明灯（46%（512/1,122箇所））【R4.3暫定】</p> <p><b>記録</b>・R2年度より大阪府都市基盤施設維持管理データベースシステムを活用し、標識、照明灯など各種点検データの登録を進めている。</p> <p>3. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は健全な施設も、今後老朽化が進展し、変状が急速に顕在化する可能性がある。点検データ蓄積による劣化予測等の分析を重ねることが必要。</li> <li>・更新費用の増大に対応するため、交付金や公適債など継続的な財源確保が必要。</li> <li>・点検・補修等のコスト縮減や効率化に向け、新技術の活用を進めることが必要。</li> </ul>
		<p>① 個別施設計画に基づき、点検及び補修を進める。</p> <p>② 継続して点検結果を蓄積・分析することにより、効果的、効率的に事業を推進し、事業費の縮減、平準化を図る。</p> <p>③ 点検の低コスト化に向け、簡易な点検手法の導入や画像診断等の新技術活用について、引き続き情報収集、活用の検討を進める。</p>
スケジュール	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> 国への提案要望（4月～） <input type="checkbox"/> 舗装構造調査を実施（7月～）
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> 照明灯の点検業務を実施（9月～） <input type="checkbox"/> 維持管理データベースシステム登録業務（路面性状調査、照明灯点検結果）（10月～）
	後期 （～3月）	<input type="checkbox"/> 舗装補修、照明柱の更新等を実施（地域整備事務所）（～3月） <input type="checkbox"/> 新技術の活用を検討（～3月）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 維持管理計画に基づいた効率的な事業推進により、事業費の縮減や平準化を推進。 <input type="checkbox"/> 引き続き、維持管理データベースシステムへの登録を進める。
進捗の状況	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> 国への提案要望（4月～7月）
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> 舗装構造調査を実施（8月～） <input type="checkbox"/> 照明灯の点検業務を実施（9月～） <input type="checkbox"/> 維持管理データベースシステム登録業務（路面性状調査、照明灯点検結果）（10月～）

	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 舗装補修、照明柱の更新等を実施(地域整備事務所)(~3月) <input type="checkbox"/> 新技術の活用を検討(~3月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	—	目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	寄与する KPI	—	目標値(2023年度) —

## 重要取組シート

建設局 公園緑地部 公園監理課

取組項目		公園施設長寿命化事業	
現状・課題		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、1,187箇所を管理しており、そのうち開設から30年以上経過した公園が約62%を占めており、10年後にはそれが約78%に達する見込みである。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急速に公園施設の老朽化が進んでいく上、安全性の問題から公園施設の利用禁止や撤去の措置が必要な施設が生じている。</li> </ul>	
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>急速に老朽化が進んでいく公園施設に対して、アセットマネジメント手法を取り入れた堺市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効率的な公園施設の維持管理の推進により、公園利用者が安全・安心で快適に利用できる環境を確保する。</li> <li>公園施設のうち、規模が小さく損傷による公園利用者への影響が小さい施設は事後保全型で管理し、求められる機能が確保できないと判断された段階で施設の撤去または更新を行う。</li> <li>遊具のように安全確保に必要となる措置を最優先とする施設や、損傷により公園利用者に多大な影響を与えるような土木構造物や建築物などは予防保全型で管理し、施設の劣化状況を把握しながら必要となる補修または更新を計画的に行う。</li> <li>施設によって管理手法を区分し、計画的・効率的な維持管理を行うことで、劣化や損傷の進行を未然に防止し、公園施設の安全性や快適性を確保していくとともに、維持管理費（年間約6億円）の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図っていく。</li> </ul>	
スケジュール	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等の発注（4月～（適宜）） <input type="checkbox"/> 遊戯施設健全度調査業務の発注（5月～）	
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等の着手（7月～） <input type="checkbox"/> 遊戯施設健全度調査業務の着手（8月～）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等の完了 <input type="checkbox"/> 遊戯施設健全度調査業務の完了	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等及び公園施設の健全度調査を継続的に実施	
進捗の状況	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等の発注（4月～（適宜）） <input type="checkbox"/> 遊戯施設健全度調査業務の発注（6月～）	
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等の着手（7月～） <input type="checkbox"/> 遊戯施設健全度調査業務の着手（8月～）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 公園施設の改築工事等の完了 <input type="checkbox"/> 遊戯施設健全度調査業務の完了	
2025 堺市基本計画	該当する施策	5-（2）都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与するKPI	—	目標値（2025年度） —

(様式4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	目標値(2023年度) —